

大木化や落葉による清掃の負担、根上がり等の問題のある街路樹を再生し、地域に愛される街路樹へと生まれ変わる・・・そのための話し合い（ワークショップ）を牛川で開催しています。この「かわら版」では、第1回の様子をお届けします。

「牛川の街路樹を考えよう①」

2022.5.26（木）18：30～20：00

講師 松井 章泰氏

平日の夜という時間帯ながら、牛川校区の皆さん17名にお集まりいただき、牛川の街路樹の植え替えについて話し合いました。

公園緑地課からの樹種、草花、植替え後の配置案等について説明があった後、各班で話し合い植替えする樹種や花を決め、発表を行いました。

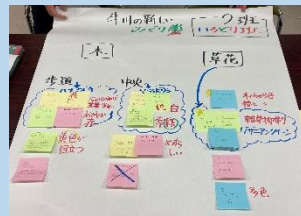
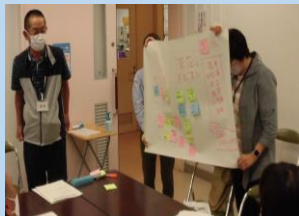
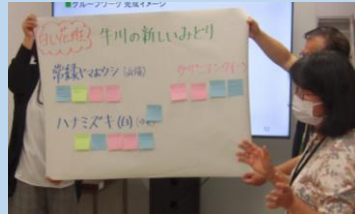
①この講座ってどんなもの？



ワークショップの概要と植替えする樹種や花、配置案について説明しました。また、植替えにあたってのポイント（高木から中木へ、現在の半分以上は木を残す等）も説明しました。

②牛川の街路樹の話し合い（グループワーク）

1グループ3～6人の3班に分かれてグループワークを実施。テーマは「牛川の新しい緑」。通学路となっているため、牛川小学校の関係者の方は子供達の安全確保等の視点から、また沿線沿いの住民の方からは維持管理等の視点から、さまざまな意見が出るなど、各班で話し合いました。街路樹の候補として「常緑ヤマボウシ」「ハナミズキ」を選ぶ班が多く、空いた植樹升に植える予定の草花は「ガザニアクイーン」「タピアン」が多く選ばれました。



③次回までの心づもり

公益財団法人日本花の会 松井 章泰氏から次回までの心づもりについてお話しをいただきました。

新城市の桜100万本の植え替えを行った経験から、「物事を決定するにあたり、情報が大事であり、情報収集出来るかがカギである。」というアドバイスをいただきました。

今回は今回各班で決めていただいた結果をもとに、実際に植替えする樹種や草花を決定していきます。地域の街路樹を選ぶにあたり、ご参加いただいた皆さんだけでなく、ご家族やご友人にも意見を伺う等して改めて考えていただければ幸いです。